

業界・行政・ユース

川名公園で樹木寄贈式を開催

愛造協

愛知県造園建設業協会（梅岡美喜男会長）は3月31日、名古屋市昭和区の川名公園で樹木寄贈式を行った。写真。同協会が進める環境緑化推進事業の一環で、当日は梅



岡会長、後藤幸名古屋支農政監部長らが出席し、部長ら協会関係者の他、梅岡会長は「川名公園は地域住民の多大な協力のおかげでできた名古屋を代表する防災公園。その感謝を示した。園のシンボルとなり得るモニュメントをシバザクラ450株、寄贈できたの国産六方石4本、美濃石は協会関係者石積15平方メートルなど。

岡会長、後藤幸名古屋支農政監部長らが出席し、部長ら協会関係者の他、梅岡会長は「川名公園は地域住民の多大な協力のおかげでできた名古屋を代表する防災公園。その感謝を示した。園のシンボルとなり得るモニュメントをシバザクラ450株、寄贈できたの国産六方石4本、美濃石は協会関係者石積15平方メートルなど。

の尽力があつてこそだと感謝している」と述べた。続けて、加納公園緑地

・農政監は、「立派な樹木と修景施設を寄贈していただき大変感謝してい

る。魅力がアップしたこの公園に訪れる市民の皆

さんも増えると思う」と代表する防災公園。その感謝を示した。

園のシンボルとなり得るモニュメントをシバザクラ450株、寄贈できたの国産六方石4本、美濃石は協会関係者石積15平方メートルなど。

ヤマザクラなど川名公園に植樹

県造園建設業協会

県造園建設業協会は昭和区の川名公園内にヤマザクラなどの樹木を植樹した。三月三十一日、同公園で樹木寄贈式が行われ、同協会の梅岡美喜男会長ら二十人と市緑政土木局員ら七人が参加した。写真。



植樹されたのは公園の北側入り口付近。縦横各六・

五メートルの敷地中央に高さ約六メートルのヤマザクラ、周囲に低いシバザクラやファイリヤフランなどを植え、周囲に御影石や六方石などを配置した。

県造園建設業協会は県内の造園会社二百六十三社で構成。二〇〇五年の愛知万

博の翌年から県内各地で植樹活動が続けている。

市の加納弘樹公園緑地・農政監は、市長名の感謝状を梅岡会長に贈呈することにも「ますます公園の魅力がアップし、たくさんの方に来ていただけたと思いま

す」と感謝を伝えた。